

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 13 日 (2009.8.13)

【公表番号】特表 2006-521042 (P2006-521042A)

【公表日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報 2006-036

【出願番号】特願 2006-503789 (P2006-503789)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/34 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/92 C

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 27/34 P

H 0 4 N 5/85 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 29 日 (2009.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オーディオビジュアル (A V) 再生システムであって、

混成媒体ストリームを分解して、映像ストリーム、音声ストリーム、そして、複数の字幕サブストリームを生成する混成媒体ストリーム分離器と、

映像ストリームを復号して、復号映像出力を生成する映像復号器と、

供給された復号映像出力を再生する映像再生プレーヤと、

音声ストリームを復号して、復号音声出力を生成する音声復号器と、

供給された復号音声出力を再生する音声再生プレーヤと、

複数の字幕サブストリームを復号して、複数の復号字幕出力を生成する字幕復号器であって、複数の復号字幕出力のうちいずれかは外部 P D A (Personal Digital Assistant) 装置に供給され、 P D A 装置は供給された複数の復号字幕出力のうちいずれかを再生するという字幕復号器と、そして、

復号字幕出力のうちいずれかを選択するユーザ入力を受け取り、前記字幕復号器に対して、選択されたいずれかの復号字幕出力を前記外部 P D A 装置に出力させる、という復号システムコントローラと、を有すること、

を特徴とする A V 再生システム。

【請求項 2】

オーディオビジュアル (A V) 再生システムであって、

混成媒体ストリームを分解して、映像ストリーム、音声ストリーム、そして、複数の字幕サブストリームを生成する混成媒体ストリーム分離器と、

映像ストリームを復号して、復号映像出力を生成する映像復号器と、

供給された復号映像出力を再生する映像再生プレーヤと、

音声ストリームを復号して、復号音声出力を生成する音声復号器と、

供給された復号音声出力を再生する音声再生プレーヤと、
複数の字幕サブストリームを復号して、複数の復号字幕出力を生成する字幕復号器と、
供給された複数の復号字幕出力のうちいずれかを再生する P D A (Personal Digital Assistant) 装置と、そして、

復号字幕出力のうちいずれかを選択するユーザ入力を受け取り、前記字幕復号器に対して、選択されたいずれかの復号字幕出力を前記 P D A 装置に出力させる、という復号システムコントローラと、を有すること、

を特徴とする A V 再生システム。

【請求項 3】

混成媒体ストリーム分離器は、複数の映像ストリームと複数の音声ストリームとを生成し、映像復号器は複数の復号映像出力を復号し、音声復号器は複数の復号音声出力を復号し、復号システムコントローラは、複数の P D A (Personal Digital Assistant) のいずれかからのユーザ入力で、各 P D A 装置において再生するために、復号映像出力のいずれか、音声復号出力のいずれか、復号字幕出力のいずれか、を選択することを可能にすること、

を特徴とする請求項 2 に記載の A V 再生システム。

【請求項 4】

オーディオビジュアル (A V) 再生方法であって、

混成媒体ストリーム分離器を用いて混成媒体ストリームを分解して、映像ストリーム、音声ストリーム、そして、複数の字幕サブストリームを生成するステップと、

映像復号器を用いて映像ストリームを復号して復号映像出力を生成するステップと、
映像再生プレーヤを用いて、前記映像再生プレーヤに供給された復号映像出力を再生するステップと、

音声復号器を用いて音声ストリームを復号して復号音声出力を生成するステップと、
音声再生プレーヤを用いて、前記音声再生プレーヤに供給された復号音声出力を再生するステップと、

字幕復号器を用いて複数の字幕サブストリームを復号して複数の復号字幕出力を生成するステップであって、複数の復号字幕出力のうちいずれかは外部 P D A (Personal Digital Assistant) 装置に提供され、前記外部 P D A 装置は供給された複数の復号字幕出力のうちいずれかを再生するというステップと、

復号字幕出力のうちいずれかを選択するユーザ入力を、復号システムコントローラを用いて受け取り、前記字幕復号器に対して、選択されたいずれかの復号字幕出力を前記外部 P D A 装置に出力させるステップと、を有すること、

を特徴とする A V 再生方法。

【請求項 5】

オーディオビジュアル (A V) 再生方法であって、

混成媒体ストリーム分離器を用いて混成媒体ストリームを分解して、映像ストリーム、音声ストリーム、そして、複数の字幕サブストリームを生成するステップと、

映像復号器を用いて映像ストリームを復号して復号映像出力を生成するステップと、
映像再生プレーヤを用いて、前記映像再生プレーヤに供給された復号映像出力を再生するステップと、

音声復号器を用いて音声ストリームを復号して復号音声出力を生成するステップと、
音声再生プレーヤを用いて、前記音声再生プレーヤに供給された復号音声出力を再生するステップと、

字幕復号器を用いて複数の字幕サブストリームを復号して複数の復号字幕出力を生成するステップと、

P D A (Personal Digital Assistant) 装置を用いて、前記 P D A 装置に供給された複数の復号字幕出力のうちいずれかを再生するステップと、そして、

復号字幕出力のうちいずれかを選択するユーザ入力を、復号システムコントローラを用いて受け取り、前記字幕復号器に対して、選択されたいずれかの復号字幕出力を前記 P D

A 装置に出力させるステップと、を有すること、
を特徴とする A V 再生方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

複数の映像可視化ユニット（1 5 8 , 7 0 2）はそれぞれ、復号映像出力 1 2 2 および複数の復号字幕出力（1 4 8 , 1 5 6）を受け取り、複数の可視化映像出力（1 6 0 , 7 0 2）が生成される。可視化映像出力（1 6 0 , 7 0 2）は各々が、対応する復号字幕出力（1 4 8 , 1 5 6）を復号映像出力 1 2 2 にオーバーレイしたものである。復号音声出力 1 3 2 および可視化映像出力 1 6 0 は、音声再生ユニット 1 6 4 と映像再生ユニット 1 6 6 とを有する再生ユニット 1 6 2 に入力される。音声再生ユニット 1 6 4 は、復号音声出力 1 3 2 を受け取り、聞き取れる形で復号音声出力を再生する。映像再生ユニット（1 6 6 , 7 0 6）は、可視化映像出力 1 6 0 , 7 0 2を受け取り、視覚的な形で可視化映像出力 1 6 0 , 7 0 2を再生する。